

日米の「動的防衛協力」について

- 別紙第1：日米の「動的防衛協力」の取組
- 別紙第2：沖縄本島における恒常的な共同使用に係わる新たな陸上部隊の配置

平成24年7月

統合幕僚監部 防衛計画部

日米の「動的防衛協力」の取組について

日米の「動的防衛協力」の取組の全体像

背景

我が国を取り巻く安全保障環境

大綱・構造改革委員会(中間報告)等を踏まえた検討

今後強化すべき機能及び課題

自衛隊の取組み(中期防衛力整備計画を含む)

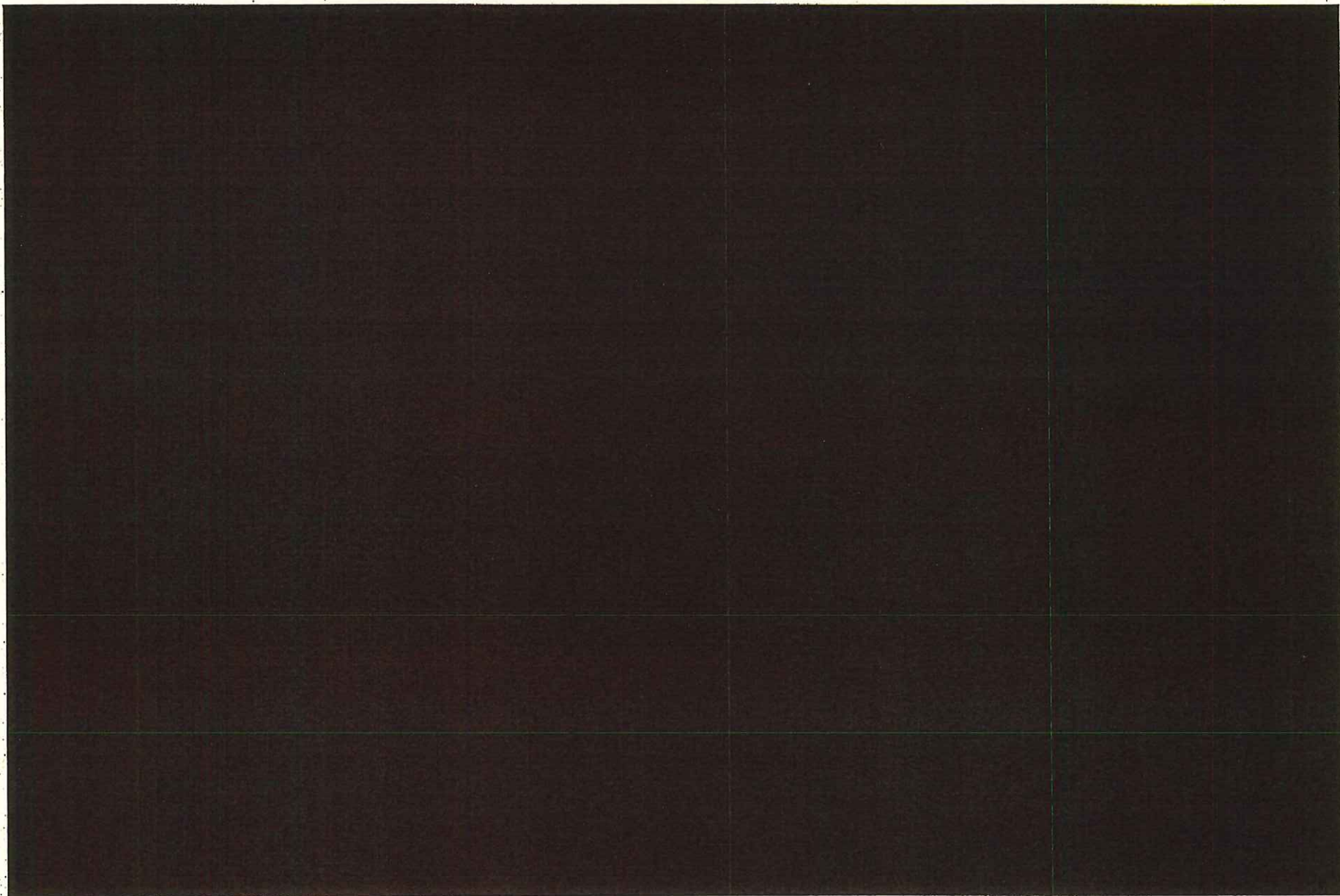
日米の「動的防衛協力」の方向性

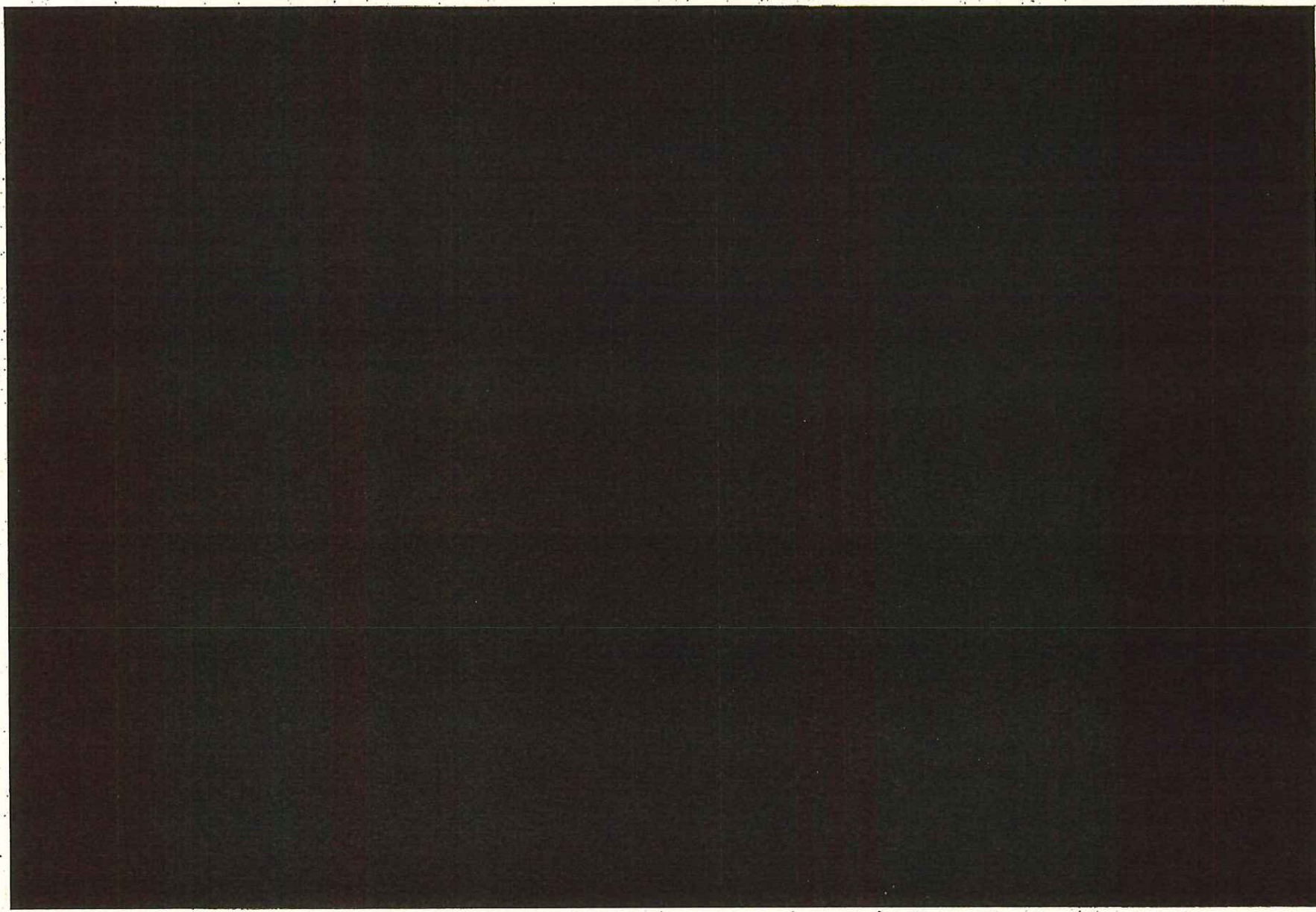
「2+2」共同発表(平成24年4月27日)

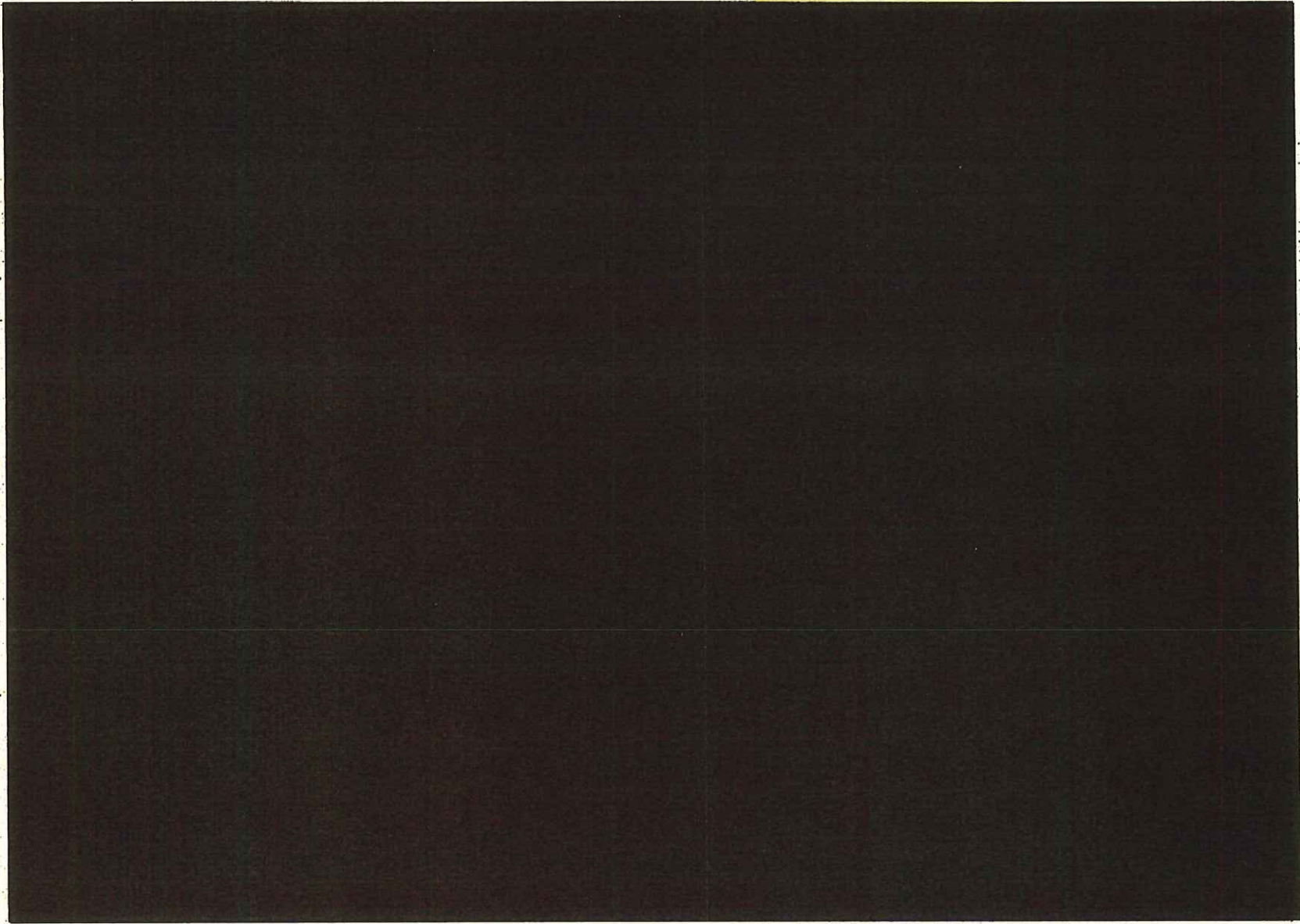
日米の「動的防衛協力」

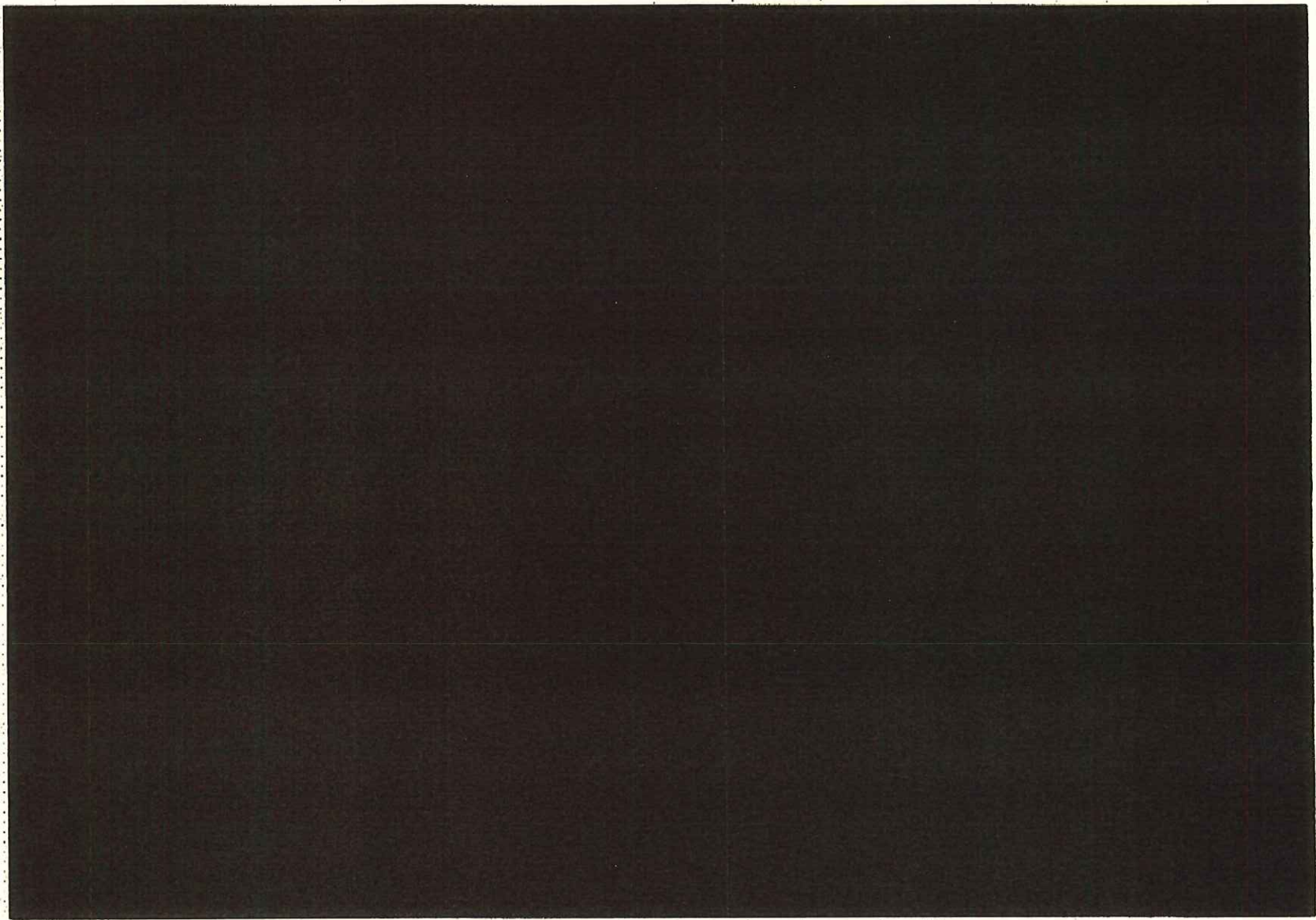
我が国を取り巻く安全保障環境

取扱厳重注意









日米の「動的防衛協力」の取組

日米の「動的防衛協力」の方向性

日米の「動的防衛協力」の取組

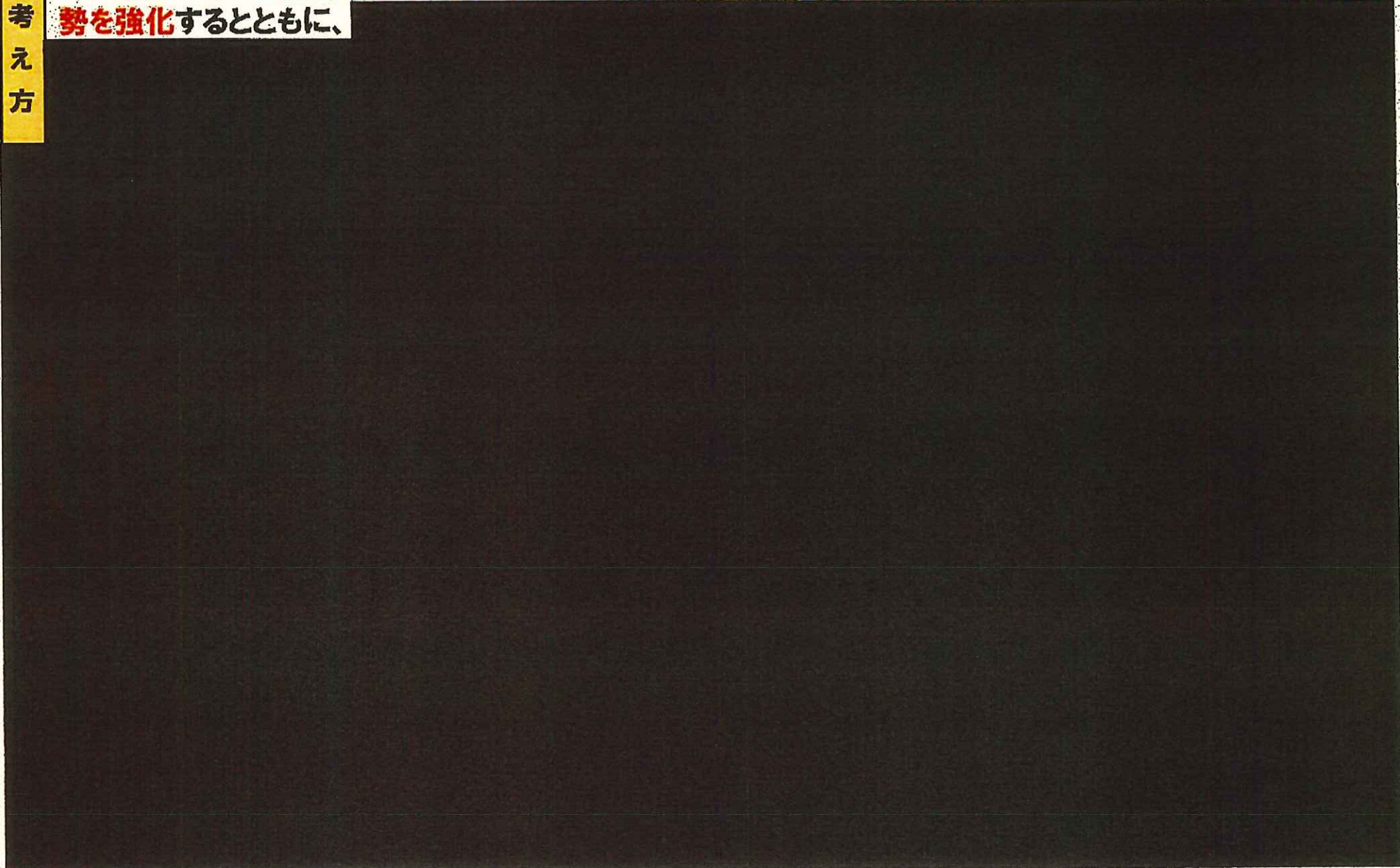
日米の「動的防衛協力」

**沖縄本島における恒常的な共同使用
に係わる新たな陸上部隊の配置**

南西地域における新たな陸上部隊の配置の考え方

考
え
方

自衛隊配備の空白地帯となっている南西地域において、必要な部隊配置等により、この地域の防衛態勢を強化するとともに、



沖縄本島における共同使用の必要性

- 南西地域は、多くの島嶼(約970個)を有し、本州に匹敵する広がりを持つ地理的特性
 - 本地域の主力戦闘部隊は、沖縄本島に所在する第15旅団の第51普通科連隊(約700名)のみであり、
- 

共同使用により期待される日米の連携

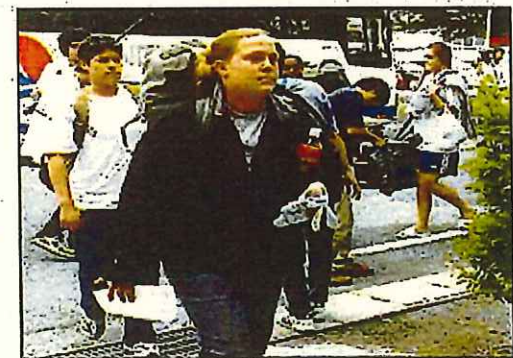
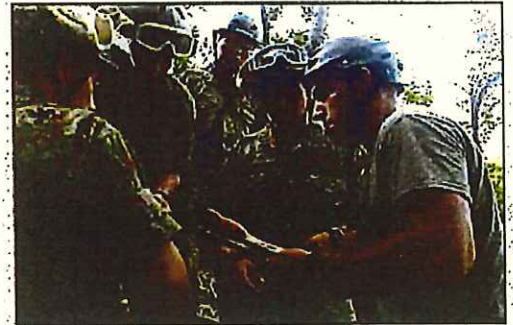
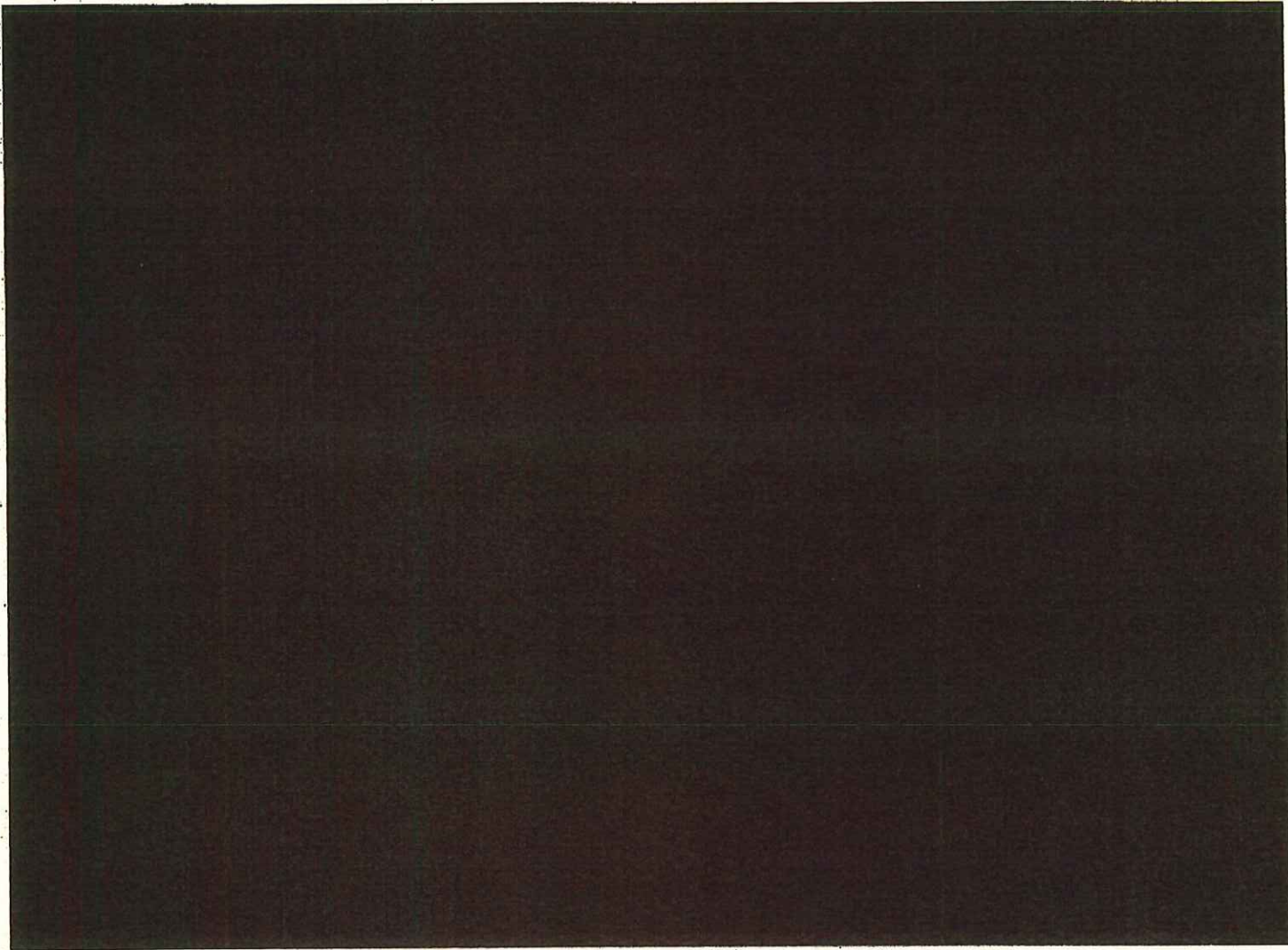
□ 地元との強固な関係構築・防災対処能力の向上

- 地元主催防災訓練等への日米共同参加
- 地元行事への日米共同参加
- 日米共同HA/DR訓練

□ 平素からの意思疎通による相互運用性の向上



共同使用による米側のメリット



□ 米軍と地元との信頼構築及び関係強化における貢献

沖縄本島における恒常的な共同使用の構想

